

大沢野・富山南道路かわら版

No. 9-2 2003年6月 編集/大沢野・富山南道路PI実行委員会

(問合せ先) ● 国土交通省北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課 TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
 ● 富山市 建設部 道路課 TEL 076-443-2091(直通) FAX 076-443-2187
 ● 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642

(今回のご報告内容)

道路計画に対する皆様のご意見をお聞かせください。



図 大沢野・富山南道路の位置

『大沢野・富山南道路』の計画に参加・ご協力ください

『大沢野・富山南道路かわら版』は、大沢野・富山南道路計画におけるPI（パブリックインボルブメント）活動の経過をご報告するためのパンフレットです。

大沢野・富山南道路計画は、これまでに大沢野町内の区間について検討して参りましたが、今年度より新たに富山市内の区間を対象に検討することとなりました。

今回のかかわり版では、道路事業やPIの概要についてご説明させて頂くとともに、「国道41号へ接続する区間」のルート帯について案をお示しいたします。

ご意見ください
(アンケート在中)



大沢野・富山南道路について

「大沢野・富山南道路」とは？

- 「大沢野・富山南道路」とは、**地域高規格道路**「**富山高山連絡道路**」の一区間を指しています。（表紙参照）

富山高山連絡道路とは？

- 地域の発展や地域間の連携を目的に指定された**地域高規格道路**で、富山市ー高山市間を約1時間で結ぶ道路です。
- この道路は、一般国道41号のバイパスとして整備するもので、無料の道路となります。
- 先行して、猪谷楡原道路は既に事業に着手しています。（表紙参照）
- 高山市までの供用時期は、岐阜県側のスケジュールもあり未定です。事業実施の環境が整ったところから、順次整備を進めて参ります。

地域高規格道路とは？

- 高速道路のネットワークと接続し、路線全体としておおむね60km/hの速度サービスを提供する道路で、主要交差点は立体化します。

表. 道路のサービス速度

高速道路	100km/h
一般道路	約40km/h
地域高規格道路	60km/h以上



事業の流れは？いつできるの？

- 平成15年度内におおむねのルート帯及びインターチェンジ配置計画を決定する予定にしております。ルート帯案は、PI活動によって住民の皆さんにお示しし、ご意見をいただくことにしております。（3p参照）
- 一般に道路が完成し実際に利用できるまでには、多くの作業や手続きが必要になります。順調に進んでも、ルートの決定後環境影響評価や都市計画決定などの手続きがあり、その後用地買収や工事等を行うこととなります。



「大沢野・富山南道路」の早期完成に向け努めて参りたいと考えています。ご理解とご協力をお願い致します。



★ P I とは何のことですか？

P Iとはパブリックインボルブメント(住民参加)のことで、道路計画の立案に際して、関係する住民と広く意見・意志を調査(対話)する時間や、計画策定の過程を知る機会を設け「住民参加型の計画づくり」を行う手法です。

★ 何を検討するのですか？

P Iでは、主に大沢野・富山南道路のルート帯とインターチェンジの位置について検討します。

★ 対象は誰ですか？

今回のP Iは、大沢野町民と富山市のうち、新保、熊野、蛭川の3校下にお住まいの方々を対象としております。

★ どのようなことを行うのですか？

P Iの基本的なしくみは右図の通りです。

各活動内容の詳細を以下の図に示しました。

★ 最終的にどのように決めるのですか？

住民の皆さんの意見を参考に、最終的には事業者である国土交通省が計画を決定します。

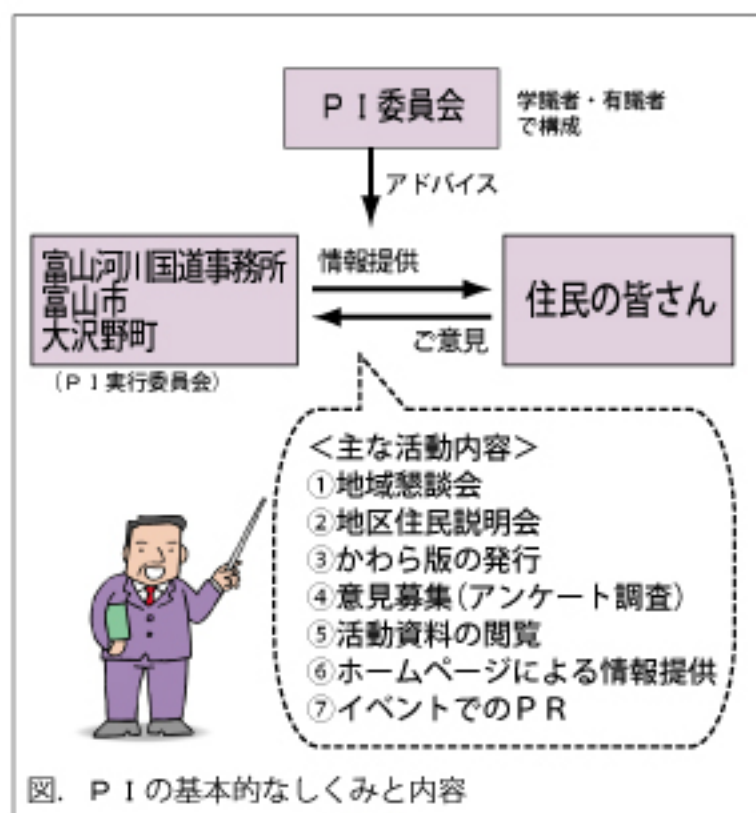


図. P Iの基本的なしくみと内容

※住民の皆さんのご意見をふまえて検討しますが、アンケートなどにより多数決で決めるわけではありません。

■平成15年度は、主に以下に示す活動に取り組みます。

①地域懇談会

- ・事業者側から地域の代表者の方々に事業内容の詳細を説明し、地域の情報や意向をお聞きします。
- ・今年度内に2回(7月、10~11月)を予定します。

②地区住民説明会

- ・ルート帯周辺地区の住民の皆さんへの情報提供と意見交換を行います。
- ・今年度内に2回(7月、10~11月)を予定しています。(大沢野町の一部地区は、10~11月の1回のみになります。)

③かわら版の発行

- ・ルート帯周辺地区の各世帯に、P I活動の報告や詳細な情報提供を行います。
- ・今回を含め、今年度内に3回(6月、8月、11月)を予定しています。

④意見募集(アンケート調査)

- ・ルート帯やインターチェンジの配置などについて、皆さんの意見を徴収します。
- ・「はがき調査」「サンプリング調査」「ホームページによる調査」の3種類の調査を、それぞれ2回ずつ(6月、8~9月)を予定しています。

※富山市側は、新保、熊野、蛭川の3校下を対象とします。

ルート帯とインターチェンジの位置を検討します

平成15年1月に瓦版でお示した事業者ルート帯案に対して、意見募集や地域懇談会においていただいたご意見をふまえて検討した結果、最終的なルート帯を次のように決めました。

(ルート帯とは?)
 ルート帯は、概略の位置を示したもので、今後の検討により多少の位置変更も考えられます。
 また、ルート帯は、おおむね100mの敷地幅で示しています。(最終的な敷地幅は、50~60m程度となります。)

今年度検討するルート帯の案を以下に提案します

ルート帯の通過する位置と、国道41号との接続箇所により、以下の4つの組み合わせが考えられます。

事業者ルート帯(案)の組み合わせ	①ルート帯の通過位置	②ルート帯と国道41号(現道)の接続
① ①-I ~ ②-I	1. ⑤富山笹津線寄りルート	I. 熊野橋手前で接続する
② ①-I ~ ②-II		II. ⑤富山外郭環状線をこえてから接続する
③ ①-II ~ ②-I	II. はば(崖線緑地)寄りルート	I. 熊野橋手前で接続する
④ ①-II ~ ②-II		II. ⑤富山外郭環状線をこえてから接続する

5ページに各パターンの比較を行っています。
 ここで示したルート帯案に対するご意見をお聞かせ下さい。(アンケート)



インターチェンジ設置候補地の概要

- A 春日インターチェンジ(仮称)**
- 総合健康福祉ゾーン付近にあり、将来のまちづくりを支援することができる。
 - 公有地の利用により、インターチェンジ設置にかかる用地費用が節約できる。
 - 主要地方道 富山笹津線に比較的近く、アクセス道路の整備が最小限です。
- B 稲代インターチェンジ(仮称)**
- 一般県道八尾大沢野線が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
 - 但し、JR高山線交差部の立体化を検討する必要がある。
 - 高内地区工業集積地への連絡が容易となる。
 - 小羽地区住民も利用しやすい。(大沢野大橋に接続する)
- B' 加納インターチェンジ(仮称)**
- 地元からの設置要望がある。
 - 加納企業団地や中心部への連絡が容易となる。
 - アクセス道路を新たに整備する必要がある。
 - はば(崖線緑地)やJRに近いことなどから、構造が複雑になり、他のICと比べ費用がかかる。
- C 塩インターチェンジ(仮称)**
- 新編スーパー農道が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
 - 中大久保企業団地への連絡が容易となる。
 - 八尾中核工業団地など、神通川左岸地区との連絡に便利である。
 - はば(崖線緑地)に近く、地形条件に配慮する必要がある。
- D 福居インターチェンジ(仮称)**
- 主要地方道立山山田線が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
 - 八尾町など、神通川左岸との連絡に便利である。
 - Dは、はば(崖線緑地)に近く、地形条件に配慮する必要がある。
- E 熊野インターチェンジ(仮称)**
- 主要地方道富山外郭環状線が整備されており、アクセス道路を新たに整備する必要がない。
 - 福中町など、神通川左岸との連絡に便利である。
 - 現道(国道41号)と重なり、設計上配慮する必要がある。

※○は利点、●は課題

決定済ルート帯(平成14年度までにルート帯を決定しました)

今回ルートを検討する区間(大沢野町塩地区~国道41号接続)

凡 例	
高速道路	第一種中核工業団地
一般国道	第二種中核工業団地
主要地方道	第一種住居地域
一般県道	第二種住居地域
一級市(町)道	近隣商業地域
広域農道	商業地域
都市計画道路	準工業地域
大沢野道路	工業地域
IC候補地	都市計画公園
	家屋密集地
	主要プロジェクト
	産業系
	住居系
	公園系
	公共施設(学校・警察署)
	文化財
	緑地帯
	神社・仏閣
	学校
	大規模工場・発電所等
	地すべり危険箇所
	保安林
	公園・ランド

アクセス拠点
 アクセス道路
 【瓦版第2号より】

加納ICは、地元から強い要望があったことから、設置の可能性を検討しています。

「2-I 熊野橋手前で接続する場合」
 ・現道(国道41号)等と平面交差するため、信号機の設置により、交通の流れが制限されます。



「2-II 富山外郭環状線をこえてから接続する場合」
 ・高山方面から富山外郭環状線をこえるまで立体構造であり、交通の流れは確保できます。



A ~ Eの6つのIC候補地について、次回までに、望ましい配置案(組み合わせ案)を提示する予定です。(すべての候補地にICを整備するとは限りません)

事業者ルート帯案の選定

ルート帯の設定にあたっては、主要な集落や公園、企業団地への影響を最小限にするとともに、走行性・経済性を考慮しました。

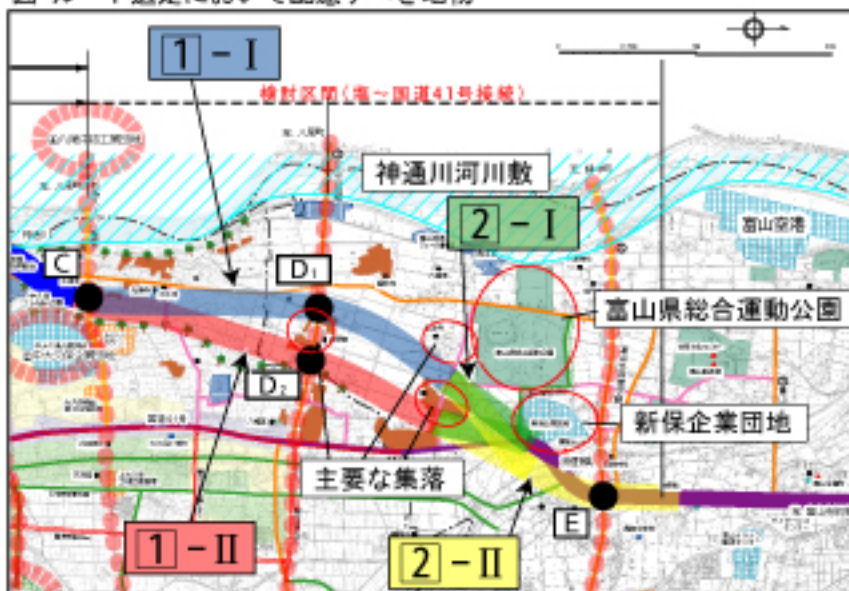
以下は、比較等に対して事業者が評価したものです。



詳しい図面は、次のページを見開いてください。

見開いてください

図 ルート選定において配慮すべき地物



① 「ルート帯の通過位置」による2案の比較

評価項目		事業者の評価	比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)
分類	細目		
広域的な利用	走りやすさ・安全性	道路延長が短く、直線的な①-Ⅱが望ましい。	
まちづくり支援	将来的な土地利用	①-Ⅰは段丘面の中央を通過するため分断要素となる。 ①-Ⅱは、はば(崖線緑地)との間に残地が発生する。	
身近な生活環境	家屋の移転	家屋移転はどちらの案も大きな差はみられない。	
	営農への影響	どちらの案も農地の斜め分断が生じる。	
	自然環境、景観への配慮	どちらの案も詳細な調査が今後必要となる。 ※はば(崖線緑地)等の自然調査が必要	
経済性	経済性	①-Ⅱは直線的で延長がやや短いですが、施工費に大きな差はない。(①-Ⅰは約90億円、①-Ⅱは約85億円。)	
これまでの住民説明会等 で出された意見		住民の皆さんから、できる限りはば(崖線緑地)へ近づけてほしいという意見がある。	

② 「国道41号(現道)との接続」による2案の比較

評価項目		事業者の評価	比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)
分類	細目		
広域的な利用	走りやすさ・安全性	②-Ⅰは信号交差点となり、②-Ⅱに比べ走行性は低い。 一方、②-Ⅲは立体構造であり走行性・安全性も高い。	
施工性・経済性	施工のしやすさ	どちらの案も国道41号(現道)とつながる部分において施工上の工夫が必要となるが、どちらも大きな差はない。	
	経済性	②-Ⅱは立体構造となるため、施工費は②-Ⅰに比べ約3倍かかる。(②-Ⅰが約25億円、②-Ⅱが約90億円。)	

インターチェンジ配置の考え方について

事業者として、今後のインターチェンジ配置位置の選定については、右のような流れを進めることとします。

7pでお示した6つのインターチェンジ候補地の中から、望ましい組み合わせを考え、次回のかかわら版において事業者の案として具体的に提案させて頂く予定です。

インターチェンジの配置にあたり配慮すべき条件は以下のとおりです。これらの条件を考慮しながら、事業者案を検討することとします。

① 「大沢野・富山南道路」への出入り

本道路への出入りは、原則としてインターチェンジとします。よって、インターチェンジ以外の箇所から出入りすることは出来ません。

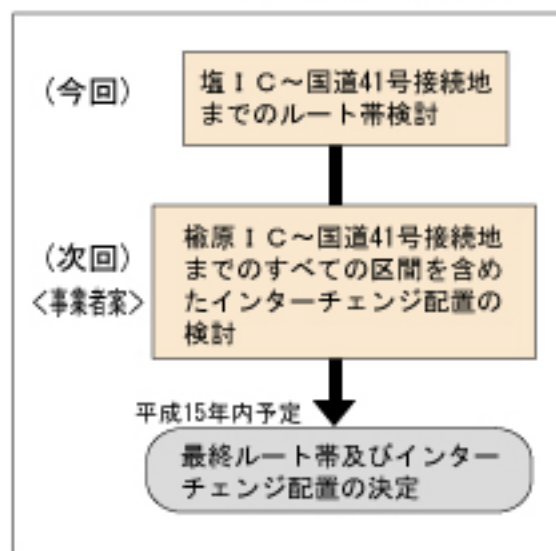
② インターチェンジの間隔は最低1km以上が必要

道路の構造上、インターチェンジの間隔は1km程度必要となります。本道路に乗る車と降りる車とが接触しないよう、安全に通れる最低の間隔の目安が1kmです。

③ 交差する道路の機能から判断

インターチェンジ設置箇所は、交差する道路のもつ機能に応じて検討します。例えば、交差する道路が本線に乗り降りする交通を処理できる幅員を備えているか、市街地や主要な施設へ直結しているか、あるいは周辺市町村へ至る広域的な機能を有しているかなどの点を評価します。

＜インターチェンジ配置の決定までの流れ＞



なお、本かわら版に差し込んであるアンケートに、1Cに関する質問を設けております。検討の参考にさせていただきますので、ご協力ください。



※1Cとは、インターチェンジの略称です。

当面の活動予定

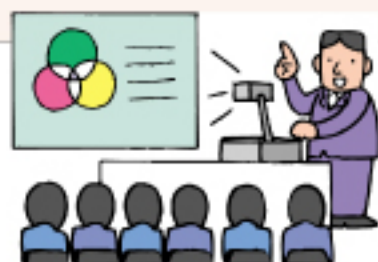
今回のかかわら版でお示した内容について、地域懇談会を開催いたします。詳細は、後日改めてお知らせいたします。

1. 地域懇談会

- 開催日時：平成15年7月上旬の平日
※開催時刻は19:00～の予定
- 参加者と会場：
対象者・3校下の町内会長さん
・地元経済団体等の代表者の方々
会 場：新保地区センター(予定)
(新保、熊野、蛭川の3校下を対象)
- ご説明内容：今回のかかわら版の内容について

2. 地区住民説明会

- 開催日時：平成15年7月上旬の平日
※開催時刻は19:00～の予定
- 参加者と会場：
対象者：各校下にお住まいの方々
会 場：各地区センター(予定)
(新保、熊野、蛭川の3校下を対象)
- ご説明内容：今回のかかわら版の内容について



皆さんの疑問にQ & A形式でお答えします

これまでに大沢野町ですすめてきたP Iの中で、住民の皆さんから多く寄せられた質問をもとに、事業者の考えをQ & A形式でご説明します。

また、今回の瓦版にはアンケートを添付しました。アンケートには自由意見欄を設けておりますので、ご質問等ご自由にお書き下さい。

Q. 富山高山連絡道路は必要なのですか？

A. 北陸道、中部縦貫道、東海北陸道と接続する規格の高い幹線道路網を形成します。これにより、経路の選択性や代替性が生まれます。この道路網を利用して、観光、医療、教育、文化、物流などの様々な連携交流活動が促進され、地域の活性化を図ることができます。

A. 地域全体における走行費用の低減や所要時間の短縮、交通事故の軽減などの効果が期待されます。投資効果については、ルート案などが具体的にまとまった段階で、より詳細な事業費の試算を行い、ご説明させていただきます。

Q. 本当に投資効果があるのですか？

Q. 富山外郭環状道路との関係はどうなっているのですか？

A. これまでの「大沢野・富山南道路」の富山市側のルートについては、『富山外郭環状道路』の位置等が具体化した段階で検討を行うこととしていました。しかし、『富山外郭環状道路』の計画が具体化するまでにはまだ相当時間を要することから、先行して「大沢野・富山南道路」のルート帯やインターチェンジの検討を行うことにしました。

A. 現在の国道41号の大沢野町区間は、交通渋滞や沿道環境の悪化が深刻な状況にあります。これを改善するとともに、生活圏や商圏の拡大あるいは、通過交通を効率よく処理するためにも、交差点のないアクセスコントロールされた道路が必要と考えます。

Q. 国道41号のほかにもう1本道路は必要ですか？

Q. 大沢野・富山南道路は、有料ですか？

A. 無料で通行できる道路となります。

A. 道路事業の計画決定までの過程を透明なものとし、地域住民の皆さんの意見を聴き、計画の合意形成を図ります。

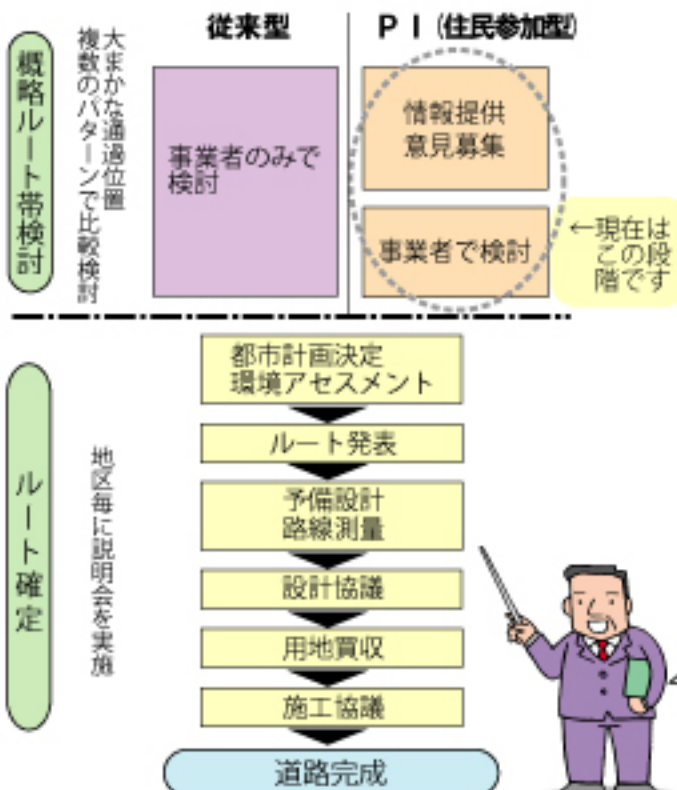
Q. なぜP Iをおこなうのですか？

次のページに続きます



Q. どのルート帯とするのか、すでに決まっているのではないですか？

A. 今回お示した比較表は、あくまでも皆さんから、各ルート帯のうちどれが望ましいと思うかをお聴きするための参考資料としてお示ししているものです。現時点で、どのルートとするのか決めているわけではありません。今回のかわら版に対するアンケート結果等をもとに、ルート選定に向けた作業を慎重に進めて参ります。



Q. 具体的なルートはいつ頃決まるのですか？

A. 平成15年度内にある程度の具体的なルート帯を決定する予定にしております。このルート帯案は、PI活動によって住民の皆さんにお示しし、ご意見をいただくこととしております。その後、環境影響評価を行い、都市計画決定という手続きを行うことにより、正式なルートとして決定されることとなります。

PIによりルート帯を確定した後も、このような作業が必要となります。

図. 道路事業の流れ

A. 具体的に何件の家が移転の対象になるのかについては、今後、皆さんからのご意見をふまえて、より詳細なルート位置の検討を行う中で明らかになります。現時点では、具体的には提示できません。

Q. どの家が移転の対象となるのですか？

Q. 地域や集落が分断されることはありませんか？

A. ルートの位置を決める上で集落分断には十分配慮します。また、適正な間隔で道路の下を横断する通路を設けるなどの対応も考え、地域間の往来に極力影響が少なくなるよう配慮いたします。

本パンフレットに対するご意見・ご質問をお待ちしております

(問合せ先)

- 国土交通省北陸地方整備局 富山河川国道事務所 調査第二課
TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
- 富山市建設部道路課 TEL 076-443-2091(直通) FAX 076-443-2187
- 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642

<ホームページアドレス>

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/osawa-road/index.html>

※富山市や大沢野町のホームページからもアクセスできます。

ホームページでもご意見を募集しております。お気軽にアクセスしてください♪

(このパンフレットは再生紙を使用しています。)